



単語の勉強の仕方まとめ

～理論編～

言語を学ぶ×世界を見る
～日本人から地球人へ～

単語の勉強の仕方まとめ～理論編～

こんにちは。岡本といいます。

僕は、外国人の方と口論ができなかったことをきっかけに英語の勉強を開始し、それまでの受験英語の延長のような勉強法から一新して英語の勉強を始めました。

さらに、英語だけでなく、言語そのものに関して情報を発信しています。

詳細は、本文最後にありますので、ぜひ見てください。

さて、今回、ここでは、単語の勉強の仕方についてシェアしたいと思います!!

この前書きで初めに言いたいこと!!

単語帳で単語の勉強をしている人。

やめましょうw

注) 単語帳を否定するつもりはないです。

僕も、かつては、シス●ム英単語や速●英単語、DU●などの単語帳にお世話になっていました。

でも、たぶん、僕らが目指す英語モードを作るのに、単語帳を使った学習は十分したと思います。

全くの単語を知らずに、英語を学習するのは確かに厳しいものがあると思います(不可能ではないですが)

でも、僕たちはもう十分単語を知っているはずです。

例、

House

Go

Bring

Knowledge

単語の勉強の仕方まとめ～理論編～

Government

Rob

Decision

これらの単語がわかるようなら、もう十分なレベルだと思います。

いくらなんでも簡単な単語すぎると思った人？

あなたは、もう単語帳なしでも大丈夫です。

ここからは、単語帳を卒業して、次のステージの単語勉強法を始めてみてはどうですか？

目的は

『世界と単語を繋ぐ学習』

です。

今回そんな単語勉強法をご紹介します。

本レポートの著作権は、著者に属します。本レポートを私的に使用する場合、もしくは著作権法により認められる場合を除き、事前に許可を受けずに、複製、公衆送信、改変、切除、もしくはウェブサイトへの転載等の行為は著作権法により禁止されています。本レポートの作成には万全を期しておりますが、万が一誤り、不正確な情報等がございましたら、もしくは、本レポートをご利用いただいたことにより生じた損害につきましても、著者は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

縁起と単語学習

■ 『縁起』を知る

僕が、まず理論編で言いたいことは、単語は『縁起』（えんぎ）で成り立っているという事です。

縁起とは、仏教の用語ですが、「**すべての存在は関係で成り立っている**」という言葉です。

『僕』という存在は、

母と父がいて
とある会社の社員であり
とある大学院を卒業していて
かつては薬学を専攻していて
ど田舎の県出身で
今は東京に住んでいて
好きな食べ物はピザとポテトで
好きなスポーツはバレーボールとテニスで
趣味は読書で
犬が大好きで
高い所は苦手で…

という紹介ができるわけですが、

これらの内容は、はたして『僕』というものを直接的に表していることになるでしょうか？

実は、これらすべては、**自分と自分の周りとの関係性**を述べているだけにすぎません。

『僕』という存在は、周りの環境があって初めて存在し得るのです。

単語の勉強の仕方まとめ～理論編～

周りとの関係性の情報が僕の本質なのです。

まわりに何もなければ、僕は存在しないのと同然なのです。

これが、**縁起**という考え方です。

■ 単語も『縁起』

『縁起』がどのようなものであるかがわかってもらえたかと思います。

次に、単語の意味は、『縁起』で成り立っているということについてです。

これまでも、僕は、フログの中で言ってきましたが、

単語の意味はあくまで、**発話された状況の中**にあります。

単語そのものに意味があるわけではありません。

だから、単語帳のような、英単語と日本語訳が対応しているものをただひたすら覚えていくというのは、**非効率**なのです。

さらに、もっと言うと、言語というのは、その言語特有の地で発話されますので、

単語というのは、**文化や環境**と強く結びついているのが普通です。

この二つの事柄についての例として、『山』という単語について考えてみましょう。

まずは、“前者の単語の意味は発話された状況の中にある。”ということについて。

いきなりですが、『山』と聞いて、あなたはどんなイメージを思い浮かべますか？

単語の勉強の仕方まとめ～理論編～

日本人が『山』と聞いて思い浮かべるのは、



こーいった感じでしょうか。

のどかな田舎に、緑の山がた立っていますね。

いかにも、気持ちよさそうな景色です。

でも、『山』って単語の意味って、この「大地の盛り上がった部分」って意味だけではないですよね？

例えば、次の会話ではどうでしょう？

A君『今日のテストどうだった？』

B君『難しかったよね。でも、**山**が当たったから、思いのほか良かったよ。』

A君『まじかよ！おれは、追試だったよ。』

B君『おお、ドンマイw』

単語の勉強の仕方まとめ～理論編～

上の会話の『山』を見て

上の写真のような『山』をイメージした人はいないと思います。

他にも

(演劇にて)

Cさん『さあ、いよいよ、ヒーローの登場だね。』

Dさん『ここが劇の山だね』

Cさん『ドキドキするね!』

単語の勉強の仕方まとめ～理論編～

一つ目の会話での『山』は

「予想」とか「勘」という意味ですね

二つ目の会話の『山』は

「クライマックスや盛り上がる場面」、という意味ですね。

この山の例でわかるように

『山』という単語の意味が、『いつ、だれが、どのように』発話したかによって、変わっています。

つまり、『山』の意味が**発話された状況**によって変化した！ということです。

次に後者の“単語というのは、文化や環境につよく結びついている。”ということについて、『山』を例にして考えてみましょう。

E君がアメリカ育ちのF君を散歩に誘った時の会話です。

E君『今日は天気がいいね。』

F君『そうだね。気持ちいいね。』

E君『そうだ！裏山に紅葉狩りにでも行こうよ。』

F君『ん？ウラヤマって何だい？ちょっと知らない日本語だよ。』

E君『ああ、裏山は、“the mountain behind my house”だよ。』

F君『ええ！？家の後ろに“mountain”があるの？そんなところで、紅葉狩りができるの！？』

単語の勉強の仕方まとめ～理論編～

どうして、F君はびっくりしたのか？

僕たち日本人にとっては、あまり違和感はない会話ですよ。

これは、

日本人のE君とアメリカ人のF君が想像した『山』と"mountain"の違いによるものです。

ちょっとグーグル先生に聞いてみましょう。w

グーグルに『山』と画像検索をかけてみると

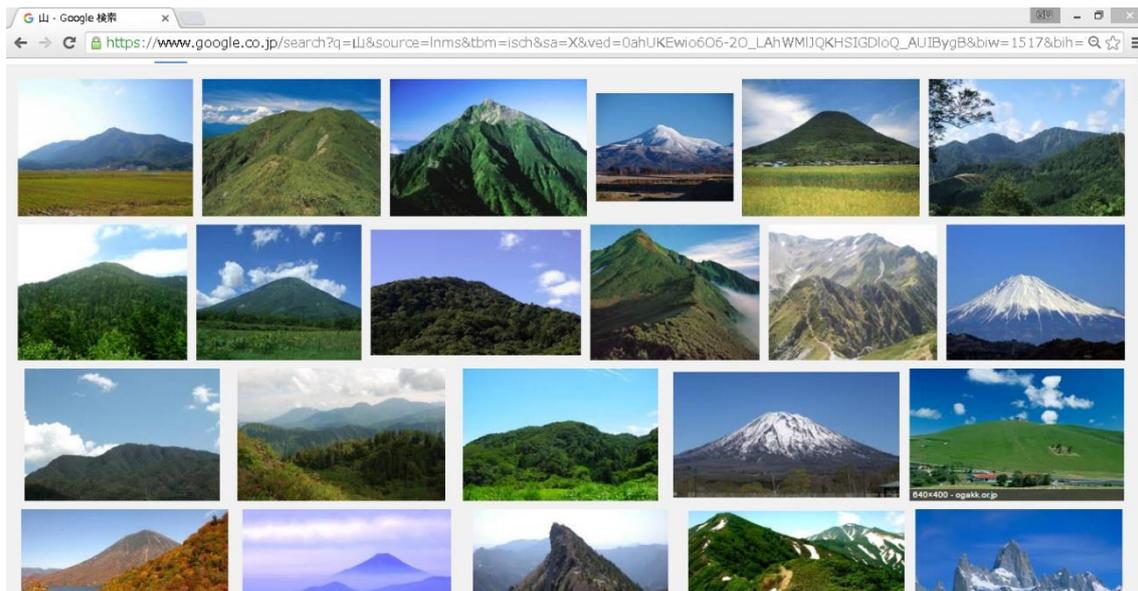


Fig. グーグルで『山』と検索してみた結果

多種多様な山が出てきましたね。

田舎の穏やかな山に、広大な山、日本一高い山の富士山、中には険しい山もあります。

それでは、次に"mountain"と検索してみましょう。

単語の勉強の仕方まとめ～理論編～

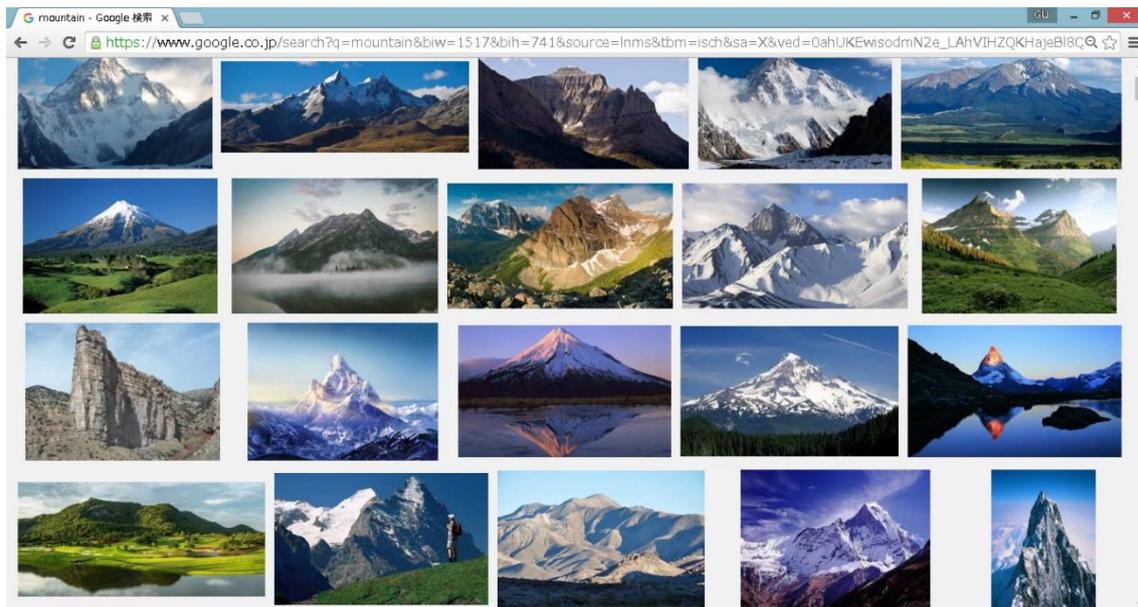


Fig. グーグルで”mountain”と検索してみた結果

なんか、『山』と検索した時と比べて、

険しい、イカつい山が多いですよw

実は、ここに、先ほどの会話のF君が違和感を抱いた理由があります。

日本人が持っている、日本語の『山』という言葉のイメージは、
グーグル先生が教えてくれたように、非常に幅広く、多種多様な『山』です。

田舎の穏やかな山から、マッターホルンのような険しい山まで、全て山という言葉で連想されます。

しかし、英語の”mountain”というと、岩肌がむき出しの険しい山のイメージが強いです。

この差が、F君が抱いた違和感の原因です。

F君は、E君の家の裏に『岩肌がむき出しのような山があつて、しかもそこに気軽にそこに紅葉狩りに行こう』と言われて、困惑したのです。

単語の勉強の仕方まとめ～理論編～

だから、このように気軽に行けるような裏山は、どちらかというど”hill”の方がイメージが近いようです。

この例からわかるように、

『**単語**というものは、**文化や環境**に強く結びついている。』

ということが理解してもらえたんじゃないかと思います。

『**山**』というありふれた単語ですが、
上に書いた2つの例で、

単語の意味は、**発話された状況の中**にあり、また**文化や環境**と強く結びついて
いるということを理解してもらえたんじゃないかと思います。

■ 『縁起』を意識した単語の勉強を。

さて、単語は『縁起』で成り立っているということを理解したあなたは、これからも単語帳を使って、単語を勉強していきますか？

単語帳に載っている日本語訳を片っ端から暗記していく。

その学習方法が、単語という本質を考えると、おれていると感じてもらえれば僕はうれしいですw

英単語の意味が、日本語訳ではなく、**縁起**によって生じると分かれば、まずは、英単語と日本語訳を結びつける作業（学習）はやめてみませんか？

そもそも僕のブログの読者さんなら知っている方も多いと思いますが、

英語を学習するとき、日本語訳をすることはやめてください。

英語モードを脳内に作る時に、日本語モードが活性化していると、それが邪魔になって、英語モードを作るのを妨げます。

いかに日本語モードをオフにして、英語モードを作るか。

それが大人になってもネイティブに言語を学ぶのに大事です。

では、どのような方法で学べばいいのか？

詳しくは、方法編で述べますが、

簡単に『縁起』を意識した学習について2つ書きますと、

まずは、1つ目は**コンテキスト**のある状況で単語を学ぶということです。

単語の勉強の仕方まとめ～理論編～

例えば、

アメリカのドラマや洋書というのは、しっかりとしたコンテキストのある状況ですね。

その単語が使われているコンテキストをしっかり意識して学ぶ習慣をつけてください。



Fig. コンテキストを意識した学習を。

もう1つは、単語の**相互関係**です。

例えば、

『山』という言葉は、「地盤の盛り上がり部分」の意味の時は、その単語の周辺には、『木』であったり、『土』、『川』、『虫』、『動物』、『木の実』であったりなど、様々な単語が存在し、相互に作用して、意味をなしています。

単語の勉強の仕方まとめ～理論編～

『山と川』と聞いて、『山』の意味を『予想や勘』という意味ととらえる人はいませんよね。

このような観点から考えると、ある1つの単語を覚える時、その単語の意味の周辺の単語も一緒に学ぶようにしてください。

さらに、『山』から連想された『川』には『魚』がいて、『魚』は『泳ぐ』生き物で、といったように、どんどん相互関係を広めいってください。

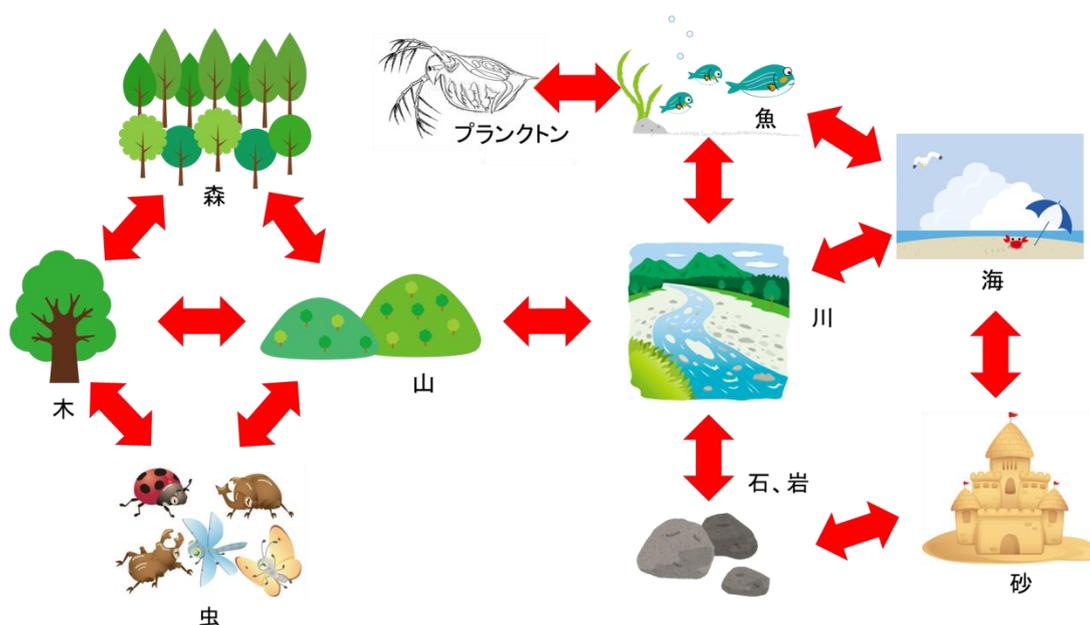


Fig. 単語の相互作用の広がり

どんどん相互作用を広めていくことで、単語の意味の理解が深まるだけでなく、会話の際、スムーズに会話できるという効果もあります。

コンテキストと相互作用、この2つを単語学習に導入することによって、『縁起』を意識した英語学習をすることができます。

次元と単語学習

■ 単語には**次元**がある

ここで、最後に**次元**についてお話ししたいと思います。

次元というと、数学や物理を思い出すかもしれませんが、あの**次元**と少しイメージは違います。

どちらかというと、「あいつは**次元**の**次元**が違う強さだ！」の**次元**に近いかと思えます。

さて、本題に入ると、単語には、**次元の高低がある**と僕は考えています。

高い**次元**の単語と低い**次元**の単語の違いは何か？というと、**情報量**です。

例えば、僕の実家は、『柴犬』という犬種の犬を飼っています。

『柴犬』は**次元**で考えると比較的低いイメージです。

どういうことかというと

試しに、『柴犬』の**次元**を上げていきます。

(低い**次元**) 『柴犬』 → 『犬』 → 『哺乳類』 → 『生物』 → 『有機物』 (高い**次元**)

単語の勉強の仕方まとめ～理論編～

となります。

イメージはつきましたか？

低い**次元**の単語と比較して、高い**次元**の単語は多くの情報を包括していることがわかると思います。

例えば『犬』は『柴犬』だけでなく、『プードル』であったり、『ドーベルマン』であったりなどの情報も含んでいます。

また、『哺乳類』は、『犬』だけでなく、『猫』や『牛』を含みます。

『有機物』までいくと、『メタノール』や『CO₂』まで含みます。

『**次元**』が高い単語がより多くの情報を包括していますね。

ではでは、次に『柴犬』という単語の**次元**を下げてみますと、

(高い**次元**) 『柴犬』 → 『黒柴犬』 → 『??』 (低い**次元**)

よっぽど犬に詳しい方ではない限り、一般の認識ではこれが限界ではないかと思います。

このように、あまり**次元**を下げることはできませんでしたので、僕は先ほど比較的**次元**が低い単語であると述べました。

どうですか??

次元という考え方に慣れてきましたか？

単語の勉強の仕方まとめ～理論編～

包括する情報の多さに注目すると、すぐに慣れてくると思います。

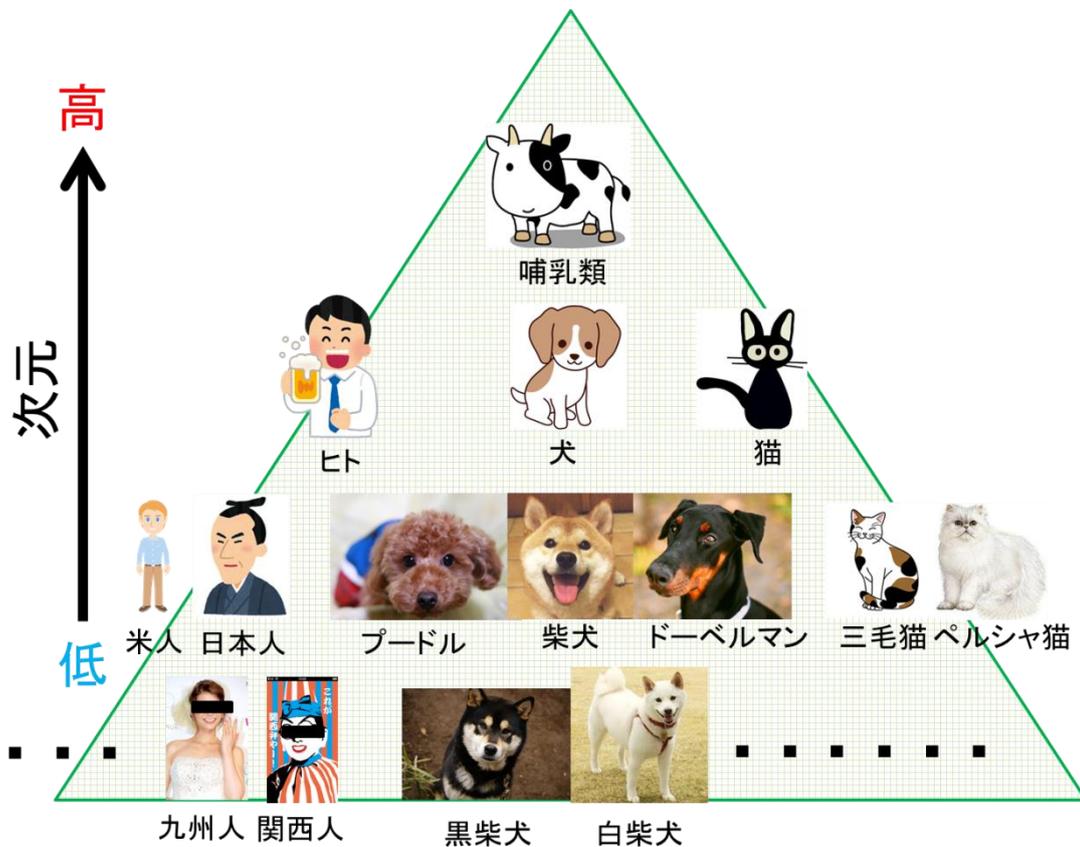


Fig. 次元のイメージ

『縁起』が横のつながりであるならば、『次元』は縦の繋がりイメージすると分かりやすいかもしれません。

■ **次元**の高低は、辞書と同じ

次元が縦の繋がりを表していることがわかってもらえたと思います。

実は、この縦の繋がりは、単語学習において、横のつながりと同じかそれ以上大事になってきます。

なぜなら、この**次元**の高低は辞書になっているからです。

どういうことかというと、

例えば、

“house”という言葉がOxfordの辞書で調べると、

“house : a building for people to live in, usually for one family”

と記載されていました。

ここで、“house”という単語が、“building”という単語が軸で説明されています。

この“house”と“building”という単語をくらべると、“building”の方が包括している情報が多いと思います。

だから、“building”の方が、**高い次元**の単語となります。

つまり、辞書というのは、**次元**を高低させ、単語を説明しているものであるということが理解できると思います。

■ 母国語において、無意識に次元の高低を使っている

では、実際に次元を意識するとどのようないいことがあるのか？

新しい単語を学ぶ時に、横のつながりだけでなく、横のつながりを頭の中で整理してすり込んでおくと、会話がスムーズになります。

縁起が横のつながりとして考えるなら、次元は縦のつながりでした。

イメージとして、単語を聞いて、縁起はその単語周辺の空間が広がり、次元は単語の理解度が深まるかんじです。

だから、会話がスムーズになるのです。

すでに次元の広がり構築されている日本語で考えてみると、

実は、僕たちが母語の日本語を話す時、次元の高低は無意識に、しかもトンデモもないスピードで処理が行われています。

『プードル』と聞いて、次元の広がり処理は無意識に、脳内で起こっているのです。

日本語で話していて、

『プードル』という単語が思い出せなくて、

『ああ、あの「犬」よ、あの、かわいい小さい犬、何て名前やっけ？』

みたいな会話をしたことがあると思いますが、

単語の勉強の仕方まとめ～理論編～

『柴犬』を思い出そうとすると、自然に『犬』という**次元**が高い単語に置き換えて、伝えようと、もしくは思い出そうとしています。

僕たちは、ある単語が出ない時に、無意識に**次元**をあげた単語で処理しています。

この**次元**の広がり、母語では、成長の過程で、世界を認識しながら構築をされています。

しかし、新しい言語を学ぶとき、新しい言語は、母語と世界の区切り方が異なるため、この**次元**の広がりを言語の抽象レベルで再構築してあげる必要があります。

言語の抽象レベルでといったのは、生きているこの物理空間の世界自体は同じで、言語による認知が変わるだけだからです。

しかし、物理空間の世界は同じでも、世界を区切る言語が変わるので、言語の抽象レベルで再構築する必要があるということです。

■ **次元**を意識した単語学習を

言語により世界の区切り方は異なり、**次元**の広がり再構築が必要です。

そのために、英語なら頭の中に英語モードを作る必要があります。

日本語モードが活性化していると、英語の**次元**の広がり構築は難しいです。

日本語での世界の区切り方になってしまうからです。

しかし、住んでいる物理空間の世界は同じです。

その世界を、英語というフィルターを通して、見ているのです。

また、**英英辞典**は有効です。

しかも、**縁起**の広がり構築にも有効です。

先の例でも述べましたが、辞書自体**次元**の高低、さらには**縁起**を利用したものです。

僕たちは母語では、自然と辞書のような処理が行われています。

その処理を、辞書を使って手伝ってもらうのは非常に有効であるということは、直感的にわかってもらえるのではないかと思います。

しかし、和英辞書のような言語が混ざったものは、やめてください。

英語の**次元**の広がり、日本語の**次元**や**縁起**で説明しても、英語での**次元**や**縁起**の広がり構築されません。

単語の勉強の仕方まとめ～理論編～

是非、勉強したい単語の言語の辞書、英語なら英英辞典（ほんとは English dictionary ですが）を利用するようにしてください。

音声と単語学習

■ はじめから**音声**も。

はい！最後に、**音声**についてのお話。

音声。めちゃくちゃ大事です。

先に述べておきたいと思うのですが、実は、始めから**音声**を意識してほしいですw

んじゃ、先に書けよって話ですが、

これまで述べた**縁起**を**次元**の話とこの章で述べる**音声**の話、これら3つの話は別々の話で、別個に意識して勉強するのではないです！

今回お話しする3つの内容は同時に意識して勉強してほしいです。

まあ、単語という一つの勉強の話なんで、当たり前っちゃ当たり前なんですけど。

でも、理屈としては、この中で紹介する3つの内容それぞれが相互作用しあって成り立っているのが単語というものです。

説明上、別々に書いてはいますが、勘の良い方なら、今回の3つの内容は、アプローチが異なるだけで、抽象度が高い所で、**言葉と世界を繋げている**ことには変わりないことに気付くと思います。

なので、繰り返しになりますが、最後に**音声**を書いていますけど、始めに**縁起**を意識し

単語の勉強の仕方まとめ～理論編～

た学習をして、その次に**次元**を意識した学習をして…って言う意味ではありません。

常に**同時**でお願いします。

話を**音声**に戻しますが、**音声**ができると英単語を覚えるスピードが格段に上がります。

言語には、その言語特有の音のリズムというものが存在します。

母国語では、その音のリズムがつかめているため、新しい単語を覚えるのが早いようです。

たまに、カタカナの単語を覚えるのが苦手という人がいますが、それは、音のリズムが日本語と異なることも理由の一つだと考えられます。

■ 日本人が文字から学習してしまう理由。

日本の学校はあまり音の学習を取り入れていません。

僕が中学生の頃も、アルファベットを習った後、簡単な be 動詞を用いた文に移った気がします。

そのまま、カタカナ発音のまま永遠に文法を学ぶ授業を受けていった気がします。

まず、この発音をほったらかしにして文法を学び、次にライティング、リーディングを学んでいくという順番が良くなかったですね。

まずは、音！それが言語を学ぶ正しい順序だと思います。

また、日本語には同音異義語があります。

例えば、

『機械』『機会』『奇怪』など、これらすべての言葉は『きかい』と読みます。

僕たち日本人は無意識にこれらの感じを脳内に思い浮かべて、意味を状況で判断しているようです。

そのせいか、僕たち日本人は、文字というものに重きを置いているようです。

しかし、英語には同音異義語は日本語ほどありません。

もちろん英語に同じ発音の単語が全くないわけではありませんが、日本語には多すぎます。

英語には同音異義語が少ないので、日本語ほど気にする必要はないということを意識してください。

■ 単語学習の基本は**音声**と世界をつなげる。

結論から述べますと、単語学習の基本は、**音声**と世界と繋げることです。

つまり、**音声**と概念をつなぐことです。(だから、じゃあ、初めに書けて話なんです
がw)

しかし、僕たちの英語学習は**音声**だけ隔離して学ぶことが多いように感じられます。

例えば、センター試験の発音問題。

次の内、下線部の発音の仕方が異なるものを選びなさい。

このような問題対策として、

発音の注意単語がまとまった参考書、問題集を解く。

このような勉強法では、音と世界を繋ぐことは不可能です。

単語の本質は音です。

言葉の起源から考えても、赤ちゃんの言語学習から考えても、単語を覚えるとき、**音**
声から入るのがふつうだと考えられます。

しかし、大人になると、子供の頃には持っていた、聞いた音をそのまま繰り返す力は大きく低下するようです。

そのため、ある程度は理論的に発音の仕方を学ぶ必要があるようです。

しかし、面白いことに、ある程度の発音の基本知識が備わると、自然と新しい言葉の音

単語の勉強の仕方まとめ～理論編～

を聞くだけで、まねできるようになるのが人間です。

音の聞き方、発音の仕方を意識して単語の勉強を行ってください。

聞き方、発音の仕方については、世の中に書いてある参考書で十分だと感じていますが、しつこいようですが、音と日本語を繋げることはやめてください。

あくまで、音と概念を繋げる作業をしてください。

概念との繋げ方は、本書で書いている**縁起**と**次元**を意識した単語学習です。

だから、先に書いたんです！！

世界との繋げ方こそが**縁起**と**次元**です！

詳しくは、それぞれの章に書きました。

そこに**音声**を加えるだけです。

音声で行った後は、文字で行って大丈夫です。

単語の勉強の仕方まとめ～理論編～

以上が、世界と単語を繋げる学習方法です。

変わった単語や聞きなれない単語がでてきたと思いますが、大事な考え方なので、しっかり理解して、これからの単語学習の活かしてください。

このレポートに対するご意見・ご感想はこちら：okamoto0712s@gmail.com まで何でも構いません。気軽に送ってください。

ブログもやっていますので、ぜひ遊びに来てください！

ブログ（言語を学ぶ×世界を見る）：<http://ameblo.jp/okmore/>

『Earth People × Earth Language』

実は、僕、メルマガしています(^^)

その名も 『Earth People × Earth Language』 です!!!

もちろん無料メルマガですが、

このメルマガが、 **コミュニティ** みたいなものとして、機能したらいいなって思っています!

ではでは、どのようなコンセプトか?

『Earth People × Earth Language』 は、

言語学習を通して、日本人から地球人を目指す、そんな共通意識を持てればええな! と思っています。

言語を学ぶことで、高い視点と広い視野を持って、『地球人』として、世界をもっと自由に認識して、人生をもっと豊かにしよう!

そんな共通意識を持って、言語を学習する人で集まろう!(^^)

まあ小難しいことを要求するわけじゃなくて、そんなニュアンスで言語を学んだら、おもしろいんじゃないか! そんなノリですw

自身の言語学習のモチベーション維持とか、多言語学習をするきっかけ、他に言語学習をする人がいるという安心感を得る、などなど、理由は人それぞれになるかもしれません。

それでOKです。

誰でも、気軽に参加してみてください(〇〇)/

“来るもの拒まず、去る者追わず” 的なコミュニティなんで笑

単語の勉強の仕方まとめ～理論編～

(システムの都合上、携帯電話だと迷惑メールに判定される可能性があるので、パソコンのアドレスの方が無難です。)

メルマガ登録↓↓↓こちらをクリック

<https://okamoto01.com/p/r/DEIEZWM3>

『Earth People × Earth Language』の考え方

【 私たちの全ての思考は、言語によって支配されている 】

私達は、ものごとを考える時、無意識のうちに言語を通しています。

例えば、

ハワイの夕日を見て、「きれいだなあ。」と感じるのも

夕日というものは人を感傷的にさせるというデータが言語を通して僕たちの中にすり込まれていて、また、ハワイの空はきれいに澄んでいて、鮮やかに見えるこの夕日は特に美しいのだ！と言語による思考を行い、認識しています。

実は、感情は言語ありきなものなのです。

さらに、

町を歩いていて、信号が赤に変わったから横断歩道を渡らずに止まる。という行動をとるのも、無意識に言語で思考しています。

「ああ、信号赤やから、止まらな危ないなあ」つてな感じに。

僕たちの思考は、全て言語に縛られているんですね。

【 言語は、世界を通してみるフィルターとして機能する感性や価値観のようなもの 】

僕たちは、言語により思考が支配されているため、認識そのものが言語により支配されています。

つまり、人は言語を通して世界を見ているという考え方になります。

単語の勉強の仕方まとめ～理論編～

このような考え方は

あの有名なドイツの言語学者である『ヴィトゲンシュタイン』の

” The limits of my language mean the limits of my world.”

(私の言語の限界は、私の世界の限界を意味する)

という言葉に通ずるものがあると思います。

言語を通して、世界を認識するとすれば、言語の限界が自身の世界の限界となりえますよね。

さらに、人間は言語というフィルターを通して世界を認識しているのならば、

言語そのものが、人間にとって、一つの価値観・感性になりえるわけです。

僕たち日本人は、日本語を通して、世界を見ているので、感性や価値観が日本人である！
という感じなのです。

【あるがままに世界を見ることを妨げる、日本人としてのスコトーマを外す】

人間には、スコトーマというものがあります。

これは、『盲点』と訳されます。(詳しくは過去記事を読んでみてください)

この盲点は、物理的に見えないということだけでなく、心理的に見えなくさせていることに対しても使います。

例えば、同じように生きていて、多くのビジネスチャンスを見つけられる人と、ビジネスに繋がるようなことを何も見つけられない人がいます。

同じ景色を見ているはずなのに、ビジネスチャンスを見つけられない人は、スコトーマが働いて、認識している世界に、もやがかかったような状態となります。

ビジネスチャンスを見つけられる人には、はっきりとチャンスとして認識されている部分
が、心理的盲点となってしまっている。ということです。

このスコトーマの1つに日本人が故のスコトーマがあります。

単語の勉強の仕方まとめ～理論編～

そこで、新しい言語を学ぶことで、日本人としてのスコーマを外してあげよう！というわけです。

【日本人から地球人へ】

僕たちは、言語というフィルターからの意味でも、スコーマという意味からも日本人です。

しかし、実は、もっとたくさんの可能性があるかもしれません。

世界の認識は、言語によって支配させていました。

だったら、新しい言語を学んで、新しいフィルターを手に入れてやろう！

新しいフィルターを手に入れ、自分の中に新しい価値観や感性を作っちゃおう！

そーゆーことです。

僕たちは、生まれる時は、全ての言語を話せる可能性を持って生まれてきたはずなんです。

実は、僕たちは生まれたての時は、世界をあるがままに見ていたのかもしれませんが、僕はその状態を『地球人』と考えています。

でも、成長するに従って、言語を学び、（僕たちの場合は、日本語を学び）

成長し、日本人としてのフィルターを習得しました。

僕は、新しい言語を学習することによって、

新しい感性を取り入れ、世界をあるがままに認識できた『地球人』に近づけるのではないかと、思っています。

【人生をより豊かに】

最後に、

よく巷では

『英語を学ぶ意義がわからない』

『日本にいて、英語いらないよ』

『なんのために英語勉強しているの?』

『翻訳機使えばええやん』

などなどの意見が飛び交っていますよね。

でも、上で述べたように

言語を学ぶことが自分の感性を磨くこととなる！

と考えると

言語を学ぶ理由なんてものは、必要か、必要じゃないかの問題ではないと思います。

言語を学んで、感性を磨いて、人生を豊かにする！

それでええんじゃないかと、僕は思います。

長くなりましたが、

『Earth People × Earth Language』のコミュニティの基本的な考え方をシェアさせていただきました。

うだうだ書いて、小難しいなと感じた方もいたかもしれませんが

単語の勉強の仕方まとめ～理論編～

難しく考えなくて、

最後のところですね

『言語を学んで、人生を豊かにしよう!』

ここに、全てが集約されているかなと

ここまで読んでいただき、ありがとうございました。

『Earth People × Earth Language』に少しでも興味を持ってくださったなら、気軽に登録してみてくださいね!

メルマガ登録↓↓↓こちらをクリック

<https://okamoto01.com/p/r/DEIEZWM3>

ぜひ、地球人を目指してみましょWWW

また、ブログにて言語の勉強の仕方をシェアしています。

興味がありましたら、ぜひ見てみてください!

◆作者：岡本

◆メールアドレス：okamoto0712s@gmail.com

◆ブログ（言語を学ぶ×世界を見る）：<http://ameblo.jp/okmore/>

◆無料メルマガ：<http://ameblo.jp/okmore/entry-12156859770.html>

(Earth People × Earth Language)